

要 望 書

全国市議会議長会指定都市協議会は、地方議会議員の厚生年金への加入の要望を別紙のとおり議決いたしましたので、政府並びに国会におかれましては、特段のご配慮を賜りますよう、強く要望いたします。

令和2年2月

全国市議会議長会
指定都市協議会
会 長 安 達 和 彦
(神戸市会議長)

地方議会議員の厚生年金への加入

地方分権の推進に伴い、また、加速する人口減少社会や多様化する住民ニーズへの対応など、政治的・行政的課題が多岐にわたる中、地方議会の役割と責任はますます重要となっており、これらの課題の解決に向けて、多様かつ有為な人材の地方議会への参画が求められている。

とりわけ、就業者の約9割にも達する会社員には、多様な世代と職種、男女が共に含まれ、地方議会においてその知識と経験の活用が期待される場所であるが、平成27年に実施された統一地方選挙において、政令指定都市の議会議員の立候補者のうち会社員が占める割合は1割にも満たない状況にある。

また一方、平成31年4月に実施された統一地方選挙は、平成27年に比して、地方議会議員に係る投票率の低下や無投票当選者数の増加など、住民の関心の低下や議員のなり手不足が一層懸念される結果となった。

これらの課題解決のため、地方議会として、開かれた議会への取組を含め種々の議会改革に努めているところであるが、多様かつ有為な人材の立候補を促すための環境を整えることが必要である。

そのためには、会社員が議員に転身する場合でも、切れ目なく厚生年金の適用を受けることができれば、老後の生活や家族の心配を軽減して選挙への立候補が可能となり、多様かつ有為な人材の確保に大きく寄与すると考えられる。

よって、国においては、下記の事項を実現されるよう強く要望する。

記

地方議会における多様かつ有為な人材の確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を、国民の理解を得ながら早急に実現すること。